

令和6年度 青森県県土整備部優良工事表彰

地域整備部長表彰

工事の概要

| | | | |
|-----------|---|-------|--------------|
| 工事名 | 国道279号道路改良（南BP）工事 | | |
| 受注者名 | 株式会社 福萬組 | | |
| 工事場所 | 上北郡横浜町字牛ノ沢川目地内 | 請負金額 | 328,185,000円 |
| 工期 | 令和5年3月17日～令和6年1月20日 | 成績評定点 | 85点 |
| 完成年月日 | 令和6年1月20日 | 推薦公所 | 上北地域県民局地域整備部 |
| 主任（監理）技術者 | 坂井 伸行 | 総括監督員 | 内海 達也 |
| 工事内容 | 施工延長L=239.2m 路体盛土工N=1式 中層混合処理工N=1式 函渠工N=1基 防雪柵工N=1式 | 主任監督員 | 壬生 信一 |
| | | 監督員 | 嵯峨 幸雄 |

推薦理由

本工事は、下北地方生活圏の中心都市「むつ市」と東北縦貫自動車道八戸線を結び、下北・南部・青森地方生活圏の地域間連携強化、下北地方の産業等の発展を支援する地域高規格道路(下北縦貫道路)の一部として横浜南バイパス工区における盛土工、道路函渠工、地盤改良工、防雪柵工の施工を主とする道路改良工事である。

当工事は、受注者よりICT施工の提案があり、中層混合処理工においてICT建機による施工・出来形計測により効率化を図られた。また、ドローンを現場に常備し、現場の進捗確認や施工打合せ資料として空撮写真を用いたことにより、打ち合わせを円滑に進めることができた。ほかにも、安全教育訓練時にVRによる労働災害体験を行うなど安全性の向上を図る取り組みを実施した。

以上、「工事等に関し新技術や新工法の活用、省力化等の創意工夫に努め、生産性向上に特に顕著な成果をあげたもの」に該当することから、青森県県土整備部優良工事に推薦するものである。

工事写真等



【 着工前 】



【 完成 】



【 ICT中層混合施工状況 】



【 施工管理モニター 】

受賞コメント

この度は、青森県県土整備部優良工事表彰を賜り、誠にありがとうございます。

受賞にあたり、本工事においてご指導賜りました監督職員の皆様、並びにご協力くださいました関係者の皆様に、心より感謝と御礼申し上げます。

この受賞を励みとし、我が社の経営理念である「顧客の信用と会社の発展を通じて、地域社会に貢献する」を目指し、更なる技術力、施工品質の向上に努めてまいります。

今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
井上 馨監理技術者
坂井 伸行

令和6年度 青森県県土整備部優良工事表彰

地域整備部長表彰

工事の概要

| | | | |
|-----------|---------------------|-------|--------------|
| 工事名 | 後平青森線道路改良工事 | | |
| 受注者名 | 株式会社小又建設 | | |
| 工事場所 | 上北郡七戸町字下志多地内 | 請負金額 | 115,522,000円 |
| 工期 | 令和5年4月1日～令和5年12月11日 | 成績評定点 | 84点 |
| 完成年月日 | 令和5年12月11日 | 推薦公所 | 上北地域県民局地域整備部 |
| 主任（監理）技術者 | 川原 堅悦 | 総括監督員 | 鈴木 孝 |
| 工事内容 | 擁壁工1式 | 主任監督員 | 能登谷 武範 |
| | | 監督員 | 高橋 渉 |

推薦理由

本工事は、みちのく有料道路にアクセスする一般県道後平青森線における拡幅整備（ゆずり車線設置）のため、擁壁工を施工したものである。

施工計画の立案にあたり、当初計画では、同時施工の隣接工区と仮設道路を共用することとしていたが、工程を入念に精査したところ、仮設道路の共用により施工性や安全性が著しく低下することが判明した。

このため、新たな仮設道路の設置を提案するとともに、現場状況を踏まえ、安全面に配慮した重機等を採用するなど、施工管理や安全管理に関する技術を積極的に取り入れ、週休2日を確保しつつ、事故なく、工期内に工事を完成させた。

以上、「困難な自然的、社会的条件を克服して工事等を完成させ、優れた成果をあげたもの」に該当することから、青森県県土整備部優良工事に推薦するものである。

工事写真等



完成（起点→終点）



完成（終点→起点）



新たな仮設道路の設置



安全面に配慮した重機の採用

受賞コメント

この度は、青森県県土整備部優良工事表彰を賜り誠にありがとうございます。本工事施工にあたり、ご指導頂いた監督職員の皆様、ご協力頂いた関係各位の皆様には心より感謝申し上げます。

本工事は、隣接工区と仮設道路を共有しての同時施工となる事で、安全面と工程の調整が懸念されましたが、地域の皆様にご協力頂き、新たな仮設道路を設置する事で、工程内に無事故・無災害で工事を完成させる事ができました。

今回の受賞を励みとし、更なる品質の向上と地域の発展に貢献できるよう、より一層の努力をして参りたいと思いますので、皆様のご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役
天間 健悦監理技術者
川原 堅悦

令和6年度 青森県県土整備部優良工事表彰

地域整備部長表彰

工事の概要

| | | | |
|-----------|-------------------------|-------|--------------|
| 工事名 | 国道338号橋梁架替（塩釜歩道橋）工事 | | |
| 受注者名 | 有限会社 中村建設 | | |
| 工事場所 | 三沢市塩釜 地内 | 請負金額 | 21,780,000円 |
| 工期 | 令和5年9月1日～令和6年1月28日 | 成績評定点 | 84点 |
| 完成年月日 | 令和6年1月22日 | 推薦公所 | 上北地域県民局地域整備部 |
| 主任（監理）技術者 | 山口 豊 | 総括監督員 | 鈴木 孝 |
| 工事内容 | カルバート工 N=1式 舗装工 N=1式 | 主任監督員 | 堀内 俊雄 |
| | | 監督員 | 南 将之進 |

推薦理由

本工事は、三沢市における国道338号に架かる橋梁（塩釜歩道橋）の架替工事であり、経年劣化により損傷していた既設橋梁をプレキャストボックスカルバートに更新する工事である。

当該路線は6,000台/日を超える交通量があり、そのうちの約25%を大型車が占めている状況の中、常時片側交互通行にて施工する厳しい条件であったが、①施工箇所付近以外に交通規制看板の設置（迂回のお願）、②三沢市ケーブルTVに交通規制のお知らせ映像を放映、③交通誘導員を朝の通勤ラッシュに合わせ早朝から配置する対策に加え、近隣住民や通学生等の歩道利用者に対しては、歩行者・自転車道を車道と分離して設置するなど、渋滞・安全対策を行った。

施工に際してはボックスカルバートの基礎コンクリートについて、配合強度を18Nから30Nに変更し、養生期間の短縮に努め、早期交通開放を行った。また、水路管理者（農業用水）による施工時期の制約があったため、舗装復旧時期が12月となったが、ロードヒーターを使用することで冬の舗装施工における品質確保に努めた。

以上、「困難な自然的、社会的条件を克服して工事等を完成させ、優れた成果をあげたもの」に該当することから、青森県県土整備部優良工事に推薦するものである。

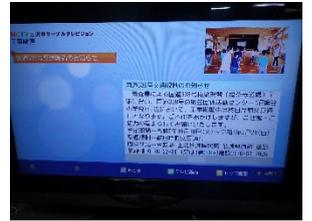
工事写真等



完成



施工箇所範囲外へ交通規制看板の設置



三沢市ケーブルTV放送映像



通勤ラッシュ時の交通誘導員



コンクリート配合強度変更



ロードヒーターの使用

受賞コメント

この度は、青森県県土整備部優良工事表彰を賜り、誠にありがとうございます。受賞にあたりまして、ご指導頂きました監督職員の皆様、ご協力頂いた関係各位の皆様には心より感謝申し上げます。

本現場は特に大型車の通行量が多い事から、安全対策には細心の注意を払い、皆様のご協力のもと無事故で完成させることができました。

今回の受賞を励みとし、地域の発展に貢献できるよう努力を重ねてまいりますので、今後とも関係各位の皆様のご更なるご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
中村 陽平主任技術者
山口 豊